

「北海道森林吸収源対策推進計画」の取組状況

令和元年 8月26日

1. 計画の推進管理について

本計画については、計画の展開方向に基づき森林吸収源対策を総合的に推進することとし、その取組状況を毎年度、客観的に検証評価し、次年度以降の施策等に反映するため、次の四つの指標に基づき、進捗状況を検証評価します。

2. 計画の指標の達成状況について

区分	基準 平成27年度末	現状 平成29年度末	年度目標 平成29年度末	年度目標 の達成率	最終目標 令和8年度末
森林経営計画の認定率	71%	72%	73%	98.6%	83%
針葉樹製材のうち 建築用製材の生産比率	36%	36%	37%	97.3%	43%
木質バイオマス エネルギー利用量	61万m ³	109万m ³	73万m ³	149.3%	128万m ³
民間及び民間との協働 による木育活動の数	174回	227回	206回	110.2%	350回

3. 検証評価の基準

次の基準に基づき検証評価を行う。

年度目標 の達成率	100%以上	90%以上～ 100%未満	80%以上～ 90%未満	80%未満
考え方	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ

4. 達成度合いの分析等

四つの指標のうち、「森林経営計画の認定率」、「針葉樹製材のうち建築用製材の生産比率」については、市町村が進める森林整備への支援や木材加工流通施設等の整備への支援等により概ね順調に推移しています。また、「木質バイオマスエネルギー利用量」、「民間及び民間との協働による木育活動の数」については、未利用材利用促進の取組や民間主体の木育活動の増加などにより順調に推移しています。

次年度以降も引き続き、計画の展開方向に基づき、計画的な森林の整備・保全の推進、林地未利用材の供給体制の確立や建築材の供給力の強化、多様な主体との連携による木育活動の実施など、目標達成に向けた着実な推進に努め、地球温暖化防止に向け積極的に貢献していきます。